

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、「人材の養成・教育研究上の目的」として、人々の生き方や社会のありように関心を寄せ、これからのあり方を考えるために必要な基礎的なリテラシーを土台に、主体的な問題意識と能動的な行動力を身につけ、幅広い教養と実践的な問題発見・解決能力をもった即戦力の社会人を育成することを掲げている。そのため、教育研究上の目的として、①現代社会を幅広く俯瞰できる教養と専門知識、②多様性への理解、③コミュニケーション力、④社会参加、⑤課題発見力、⑥課題解決のための技能、⑦総合的な知恵の獲得・達成を理念として設定している。この目的は、社会の問題を分析し、解決できる人材の育成を求める社会の要請に合致している。				
(2) 総合政策学部は、社会参加、課題発見力のできる人材育成を目指していることから、建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」を具現化することを掲げている大学の理念・目的の間には適切な関連性があると考える。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、「AP/CP/DP」 ウェブサイト【ウェブ】				
(2) 2023年総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、「AP/CP/DP」 ウェブサイト【ウェブ】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、人材育成、教育研究上の目的を設定し、愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程に明示し、履修要項に公表している。				
(2) 総合政策学部は、建学の精神を具現化することを踏まえ、人材の養成、教育研究上の目的を設定し、履修要項及び大学ホームページに掲載し、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表している。				

基準1. 理念・目的

組織名

総合政策学部

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

(1) 2023年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程 ウェブサイト【ウェブ】

(2) 2023年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、「AP/CP/DP」 ウェブサイト【ウェブ】

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号

長所・特色

なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号

課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号

改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、
「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、
「C:重度な問題がある」から選択してください。

自己評価

A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。 ※各学部・研究科の自己点検・自己評価委員会の年2回以上の開催及び委員会での取り組み内容について具体的に記載してください。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 学部自己点検自己評価委員会において、学部の内部質保証についての点検を行っている。また、自己点検自己評価に関して学部会で報告し、現状の認識を全体で共有している。学部全体では、教育面では、自己点検・自己評価結果を踏まえ、研究授業やFD研究会を実施して、改善・向上に取り組んでいる。科目群ごとに教員相互の意見交換、各教員の授業アンケートをもとに、授業の自己点検、自己評価を年度ごとに行い、改善・向上に努めている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度学部自己点検自己評価委員会・学部会での自己点検自己評価に関する資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準2」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、2023年度履修要項「総合政策学部の特色」及び大学ホームページに、現代社会を幅広く俯瞰できる教養と専門知識、課題解決のための技能を習得し、多様性への理解、コミュニケーション力、社会参加、課題発見力、課題解決力、総合的な知恵といった能力・資質を身につけていると判定した者に学位を授与するディプロマ・ポリシーを、方針として公表している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度履修要項総合政策学部「総合政策学部の特色」「AP/CP/DP」ウェブサイト【ウェブ】、「ディプロマ・ポリシー」ウェブサイト【ウェブ】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価	
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A	
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な連関性がありますか。	A	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。					
(1) 総合政策学部は、カリキュラム・ポリシーとして教育課程編成・実施について、教養教育科目、リテラシー科目、基盤科目、展開科目、リサーチプロジェクト、キャリアデザイン科目を配置し、科目の特徴に応じた授業形態等の適切性に配慮し、2023年度履修要項「総合政策学部の特色」及び大学ホームページに、カリキュラム・ポリシーとして方針を公表している。併せて、教養教育との連携を定期的に図っている。					
(2) 総合政策学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育課程を編成・実施し、学修の結果として、十分な能力、資質を有する者に学位を授与すると定めている。したがって、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーには適切な連関性がある。授業科目とディプロマ・ポリシーとの連関性はカリキュラム・マップにて周知している。					
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。					
根拠資料名					
(1) 2023年度履修要項「総合政策学部の特色」 総合政策学部ウェブサイト【ウェブ】					
(2) 2023年度履修要項「カリキュラム・ポリシー」 総合政策学部ウェブサイト【ウェブ】					

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 ＜学士課程＞ 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 ＜修士課程、博士課程＞ コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、教育課程の編成・実施方針に基づき、総合政策学部の学位課程にふさわしい整合性のとれた授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成して、履修要項に公表している。				
(2) 総合政策学部は、情報、言語、リサーチ、プランニングの4つのリテラシー科目に、1年次、2年次に履修する必修科目を設定している。また、6つのクラスターごとに、1年次から履修できる基盤科目、2年次以降に履修できる展開科目を配置している。以上のように順次性及び体系性を配慮して授業科目を位置づけて教育課程の編成をし、履修要項に公表している。				
(3) 総合政策学部は、教育課程の編成・実施方針を踏まえた個々の授業科目の内容及び方法をシラバスに明記している。個々の授業科目内容、方法と教育課程の編成・実施方針との整合性については、シラバスチェックにより確認している。				
(4) 総合政策学部は、学部の教育課程にふさわしい教育内容を設定し、履修要項に記している。1年次から4年次に開講する「リサーチプロジェクト」では、アクティブ・ラーニングを通してグループ調査、合同発表などを重視し、大学での学びに必要な能動的なスキル獲得を目指している。				
(5) 総合政策学部は、キャリアデザイン科目や資格試験、インターンシップによる単位認定をし、学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施している。実務経験のある教員による科目を実施している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、「カリキュラムツリー」 ウェブサイト【ウェブ】				
(2) 2023年度総合政策学部履修要項「授業科目の概要」、「カリキュラム概要」、「カリキュラムツリー」 ウェブサイト【ウェブ】				
(3) 2023年度総合政策学部履修要項「カリキュラムツリー」 ウェブサイト【ウェブ】				
(3) 2024年度科目シラバスチェックの依頼、2024年度シラバスチェック案内及び報告書 ウェブサイト【ウェブ】				
(4) 2023年度総合政策学部履修要項「授業科目の概要」、「カリキュラム概要」、「カリキュラムツリー」 ウェブサイト【ウェブ】				
(5) 2023年度総合政策学部履修要項「カリキュラム概要」、「カリキュラムツリー」、「単位認定」、2023年度実務経験のある教員による授業科目 ウェブサイト【ウェブ】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置（授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等）を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容（授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示）は適切ですか。 また、授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。 （教員・学生間や学生同士のコミュニケーション機会の確保、グループ活動の活用等）	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 ＜学士課程＞ ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 ＜修士課程、博士課程＞ ・研究指導計画（研究指導の内容及び方法、年間スケジュール）の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体（会議名・誰が）」、「どのように（方法・指標）」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、履修要項において単位の実質化を図る措置について明記し、学生の学修活性化、効果的な教育実施のために、シラバスにおいて授業時間外学修について明記している。履修登録単位数上限については履修要項修学目標に記している。シラバスにおいて授業外学修についての記載をし、学生の授業外学習のアドバイス、活性化を進めており、自己点検・自己評価に関する学部会においても単位の実質化を図るための措置としてアドバイザー、ゼミ教員中心に学生の学修指導を行っていくことを確認している。その際、教職課程を履修する学生に対し、教職課程の授業が学部の授業の単位取得の妨げとならないよう、アドバイザーが指導している。 (2) 総合政策学部は、開講科目について、シラバスにおいて、授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示をしている。また、授業アンケートにおいて設問を設け、授業内容の適切性、整合性についてチェックを行っている。 (3) 総合政策学部は、リサーチプロジェクト科目において、学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じている。特に「リサーチプロジェクトlab」については、クラス発表、グループ調査、全体発表会など自主的参加を促す授業形態、授業内容、授業方法の措置を講じている。 (4) 総合政策学部は、演習科目及びリテラシー科目については、履修学生数定員を決めている。教員が学生個人調査票を活用し、学生の学修状況を把握し、適切な履修指導の実施をしている。特に成績不振学生については、各学期の最初に、教務主任、ゼミ担当教員が面談し、丁寧に指導している。加えて、学部による新入生歓迎会の中で、新入生に対して、上級生が履修アドバイスを実施している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度総合政策学部履修要項「履修の基本事項」、2023年度自己点検自己評価の学部会資料 ウェブサイト【ウェブ】、2023年度総合政策学部教職課程自己点検自己評価報告				
(2) 2023年度総合政策学部履修要項「履修の基本事項」、2024年度シラバスチェック案内及び報告書 ウェブサイト【ウェブ】				
(3) 2023年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、愛知学院大学総合政策学部「リサーチプロジェクトIa Ib」テキスト、「リサプロカリキュラムマップ」 ウェブサイト【ウェブ】				
(4) 2024年度リサーチプロジェクトIIIabIVab募集要項、2023年度春秋学期予備登録の手引き、2023年度春学期 2年生必修科目クラス割、23Gリサーチプロジェクトlab・日本語表現法・情報リテラシー科目クラス分け、個別指導等実施報告書（2023年秋学期）				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。 また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示し、公表していますか。	
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するために どのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、単位制度の趣旨に基づく単位認定、また、既修得単位の認定について履修要項に記し、適切に行っている。				
(2) 総合政策学部は、成績評価の客観性、厳格性のために、科目シラバスにおいて成績評価の方法を明記している。また、「リサーチプロジェクトIVb」では、ルーブリックを用いた複数教員による評価を行っている。				
(3) 総合政策学部は、卒業・修了要件を履修要項に明示している。				
(5) 総合政策学部は、進級については、学部会において判定を実施している。また、卒業については、学部会の議を経たうえで、代表教授会で実施している。				
(6) 総合政策学部は、上記(1),(2),(3),(5)を踏まえて適切に学位授与を行っている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度総合政策学部履修要項「カリキュラム概要」「履修の基本事項」「成績」「単位認定」 ウェブサイト【ウェブ】				
(2) リサーチプロジェクトIVb ルーブリック表(2019年7月17日学部会承認)、2023年度リサーチプロジェクトIV b複数教員による評価に関する表				
(3) 2023年度総合政策学部履修要項「カリキュラム概要」 ウェブサイト【ウェブ】				
(6) 2023年度学部会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。 (特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、教育課程の科目の性質により様々な学修成果の評価方法を行うことを履修要項に明記し、各科目シラバスにおいて成績評価方法を明記している。アセスメント・プランを設定し、ディプロマ・ポリシーに示した学習成果を測定するための指標を設定している。				
(2) 総合政策学部は、科目の性質により、学修成果の把握を様々におこない、各教員が成績評価をしている。特に、リサーチプロジェクト科目や英語科目では、複数の評価主体から成績評価を行っている。学部として社会人基礎力調査を行い、科目によってはルーブリックを活用した測定、アセスメントテストの導入、卒業生に対する意見聴取も行っている。キャリアセンターを通し、総合政策学部卒業生就職先企業とコンタクトし、総合政策学部卒業生は卒業後企業においておおむね良い評価を得ているという報告を受けている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、「カリキュラムマップ」 ウェブサイト【ウェブ】				
(1) 総合政策学部アセスメント・プラン				
(2) 2023年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、2023英語セルフアセスメントシート、2023年度自己点検自己評価の学部会資料、総合政策学部リサーチプロジェクトIVabルーブリック方針、学部会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学部自己点検自己評価委員会ならびに学部会において、成績評価、進学率、卒業率、就職率等をもとに点検し、現状が良好であると評価している。学部実施の社会人基礎力、大学実施のPROGテスト結果を踏まえ教育に活用することを学部会で確認している。				
(2) 学部自己点検自己評価委員会ならびに学部会において、現状が良好であることを踏まえ、今後も点検・評価を行っていくことを確認した。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) (2) 2023年度学部自己点検自己評価の委員会・学部会資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、愛知学院大学HP上に、総合政策学部の学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表している。				
(2) 総合政策学部は、愛知学院大学HP上に、総合政策学部の入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像、入学希望者に求める水準等の判定方法を設定し、公表している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 学部アドミッションポリシー 「AP/CP/DP」 ウェブサイト【ウェブ】				
(2) 学部アドミッションポリシー 「AP/CP/DP」 ウェブサイト【ウェブ】				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

総合政策学部

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、入試委員会のもと、総合政策学部学生の受け入れ方針に基づき、学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に行っている。				
(2) 学部長、教務主任が入試委員会委員となり、入学者選抜実施を行っている。				
(3) 総合政策学部は、入試委員会のもと、総合政策学部学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施している。指定校推薦については、入学した学生の学修状況を加味し、毎年、指定校枠や基準の見直しを行っている。				
(4) 総合政策学部は、入試委員会のもと、総合政策学部へ入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度入試委員会議事録				
(2) 2023年4月代表教授会資料(2024年度入試のための委員会)				
(3) 2023年度入試委員会議事録				
(4) 2023年度入試委員会議事録				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

総合政策学部

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、入試委員会のもと、適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度入試委員会議事録、大学基礎データ(2019年－2023年度)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、入試委員会、入試検討小委員会、自己点検自己評価の学協会、学協会等において、学生受け入れの適切性について点検・評価を行っている。2023年度は、総合政策学部の学生受け入れの適切性を考慮し、オープンキャンパスでの広報と総合型選抜(高大連携)入試の連携を重視し、総合型選抜試験を実施した。				
(2) 総合政策学部は、入試検討小委員会、入試委員会、自己点検自己評価の学協会、学協会等において、入学者の入学後の学修状況・適切性についての検討している。				
【根拠資料名】上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度入試委員会議事録、2023年度学部自己点検自己評価委員会記録、2023年度総合政策学部学協会資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既にも実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針(分野構成、各教員の役割、連携のあり方、教育研究に係る責任所在の明確化等)を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学部の多様性・年齢構成などのバランスに配慮し、学部内規に沿った教員組織について第二期中期計画で確認している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度総合政策学部自己点検自己評価の委員会・学協会資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教員組織の編制に関する方針と教員組織の整合性 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員（教授、准教授、講師又は助教）の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置（国際性、男女比等も含む） ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 適切であることを学部自己点検自己評価委員会・学協会で点検している。				
(2) 専任教員数を維持している。				
(3) 総合政策学部は、教育上主要と認められる授業科目、学部カリキュラムに合わせた分野、男女比、国際性、年齢構成などのバランスを踏まえ専任教員を適切に配置しており、教育課程の目的に即した教員配置もおこなっている。専任教員1人あたりの年間の担当コマ数は、2023年度は平均12.33（標準偏差1.99）であり、特定の教員に負担が偏らないように配慮している。				
(4) 学部教務主任と教養部教務主任間で運営体制についての意見交換を実施し、適切であることを確認している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度学部自己点検自己評価委員会、学協会資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部教員人事に関する内規が整備されている。				
(2) 総合政策学部教員人事に関する内規に沿って、2023年4月に新任教員が着任した。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1)・(2) 総合政策学部教員人事に関する内規				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。 ・教育改善以外に研究の活性化や社会貢献等の教員に求められる 諸活動について資質向上を図る取り組みの実施 ※学部及び大学院について、それぞれの内容に特化したFD活動を行っているか、併せてご確認ください。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、毎年テーマを決めFD活動を実施している。学部FD研究会は、2024年1月24日の学部FD研究会(テーマ:「AI時代の卒業論文とは？ ChatGPTのしくみと利用方法」)と題し、学部教員全員及び他学部教員が参加し、FD活動を実施した。また、科目群により学期末にFD活動が実施されている。				
(2) 学部自己点検自己評価委員会・学部では学部教員の諸活動についての評価・確認をし、その結果を活用している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度学部FD研究会記録				
(2) 2023年度学部自己点検自己評価委員会・学部会資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部では、性別・年齢に偏りがない教員組織となっており、適切である。				
(2) 今後も性別・年齢に偏りがない教員組織となるよう現状を継続していくことを確認した。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) (2) 2023年度学部自己点検自己評価委員会・学部の資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 総合政策学部は、いくつかの学外組織と連携体制を構築し、地域交流事業等に取り組んでいる。2023年度秋学期連携講座として、中日新聞社と総合政策学部が連携した授業科目「総合政策f」が開講された。また、学部担当教員が、長久手市、日進市の大学連携担当部局と学部教育を通し、協働的に活動をするについて継続的に意見交換をしている。 (2) 総合政策学部では、学部開講科目で教育研究活動を推進している。社会連携・社会貢献に関する「リサーチプロジェクトIb」では、1年生が、地域の社会活動を行っている団体や近隣自治体にフィールド調査を行う授業を実施している。「リサーチプロジェクトII ab、IVab」の一部のクラスでは、近隣自治体等と連携し、社会貢献活動を展開している。2023年9月には、総合政策学会後援、政策科学研究所と環境共生学会共催で『地域の食文化の持続を目指して』というタイトルのフォーラムを実施した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) 2023年度「総合政策f」シラバス				
(2) 2023年度「リサーチプロジェクトIb」シラバス、「リサーチプロジェクトII ab (村田担当)」シラバス、2023年9月政策科学研究所フォーラムチラシ				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 学部自己点検自己評価委員会において、総合政策学部は社会連携・社会貢献に積極的に取り組む姿勢があることを点検・評価した。 (2) 学部自己点検自己評価委員会・学部に於いて、総合政策学部の社会連携・社会貢献に点検・評価し、授業アンケートやフォーラムなどでのアンケート結果を踏まえ、点検・評価していくことを確認した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
(1) (2) 2023年度学部自己点検自己評価委員会記録・学部に資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A